

令和5年度 特別講演

□ 演 題 「インフルエンザ及び新型コロナウイルスとワクチン開発」

□ 講 師 国立感染症研究所
インフルセンザ・呼吸器系ウイルス研究センター長
長谷川秀樹 氏

□ 講演内容

世界中に瞬く間に広がりパンデミックを起こすインフルエンザと新型コロナウイルス感染症、病気の予防、治療にはまずは病気を知る事が重要です。私は患者さんの臓器を調べて、病気の起こるメカニズムを研究する病理学を専門としています。病気の起こるメカニズムを解析しそれに応じた最適な予防方法の研究を行っています。病気を起こすウイルスがどういうものなのか敵を知り、また感染した時の生体応答等の己を知りどのようにすれば効果的に防げるのか科学的に考えていきます。

新型コロナウイルスに対しては驚く程早いスピードでワクチンが開発されましたがワクチンの限界を考えるとどうすればより効くワクチンになるのか、ワクチン開発研究の現場のお話をしたいと思います。

□ 講師経歴

1993年 北海道大学医学部卒業
1995年
～1997年 米国 ロックフェラー大学、
アイルランド ユニバーシティカレッジダブリン留学
1997年 北海道大学大学院医学研究科修了、博士（医学）
1997年 国立感染症研究所感染病理部研究員
2003年 同室長
2011年 同部長
2019年 同 インフルエンザウイルス研究センター長、
2021年 同 インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター長、現在に至る

東北大学大学院医学研究科客員教授、横浜市立大学大学院医学研究科客員教授
北海道大学ワクチン拠点客員教授、早稲田大学理工学院客員教授
WHO インフルエンザ協力センター長

□ 研究内容

感染症の病理、ワクチン開発、粘膜免疫